平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 В

		_				1 /70		_
評価対象事業				評価者	文化力	人権課担当課長	藤田 聡一郎	
#-台I9.9	重点事業	鎌倉芸術館管理運営事業		自治事務	主管課	文化人権課(文化	人権推進課)	
共創-22	まち・ひと・しごと			法定受託事務	関連課			
総合計画上の 位置付け	分野	文化		施策の方針	文化活動の	支援•推進		

1 事業の目的

2 平成29年度に実施した事業の概要

対 象	市民等	
意図	鎌倉市の芸術文化の拠点である鎌倉芸術館の機能を発揮できるよう指定管理者制度を導入し、施 設の管理運営を行うとともに、施設・設備の修繕実施により予防保全を図るため。	・施設の管理運営業務を指定管理者へ委託するほか、鎌倉芸術館用地の賃借などの業務を行った。・鎌倉芸術館の大規模修繕を行った。
効	指定管理者制度導入により施設の利用貸し出し、鑑賞機会の提供や施設の維持管理など鎌倉芸術	3,000

3 事業費等基礎データ

館の一体的管理に基づく効率的な運営を図り、予防保全により施設・設備の良好な維持を図る。

一人	データ区分	28年度決算	29年度決算	データ区分	30年度当初予算	備考
デヘ	人口	176,869人	176,466人	人口	176,308人	•各年3月31日
タ等の	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯	(住民基本台帳)
<u></u>	事業の対象者数			事業の対象者数		
	決算値(千円)	466,203	1,640,308	当初予算(千円)	362,489	
運	国県支出金		12,567	国県支出金		
営資源	地方債	123,900	950,100	地方債	37,500	
頁	その他	3,607	3,170	その他	6,864	
状	一般財源	338,696	674,471	一般財源	318,125	
況	人員配置数	2.7	2.8	人員配置数	2.8	
	人 件 費(千円)	20,431	21,154	人 件 費(千円)	21,817	
事	総事業費(千円)	486,634	1,661,462	総事業費(千円)	384,306	
経業費運	市民1人当りの 経費(円)	2,751	9,415	市民1人当りの 経費(円)	2,180	
営	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか		1. ある							
1 + ?	関連・類似事業との統合はできないか		2. 統合に向けた検討は可能							
	事業の実施に対する市民ニーズはある	るか	3. 変わらずにある							
妥 当性	事業の廃止・休止による市民生活への影	響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある							
	今後も市が実施すべき事業か		4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能							
有 効 性	事業の成果は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である							
בו נא הי	事業の上位施策に向けた貢献度は大	きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している							
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある							
			△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である							
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	協働実施済の場合のパートナー							
	□ a:事業内容を見直す ⇒	<mark>見</mark> □ 拡大	元							
事業内	■ b:事業内容は現状通りとする	種直 □ 縮小	内直 容し							
容の方 向性	□ c:事業を休止又は廃止する	<mark>の</mark> □ その	他 <mark>の</mark>							
	□ d:他事業と統合し、本事業は廃止	:する =	事業へ統合							
予算規	□ A:予算規模を拡大する	事業内容•予	平成28年度に公募した指定管理者の業務仕様書等による業務を平成33年度まで							
模の方	□ B:予算規模は現状維持とする	算規模の方向	実施し、芸術文化の振興を図る。平成28年度から平成29年度の大規模修繕により 予算規模は一時的に増大したが、設備等の更新により光熱水費の削減が期待でき							
向性	■ C:予算規模を縮小する	性設定の理由	5。							

総評(評 価に対 する考

効率性については、指定管理料、維持修繕費、負担金等の削減の可能性があるため、「事業費の削減余地」は「ある」とした。妥当性につ いては、鎌倉の芸術文化発信拠点として、例年50万人以上の利用者があるなど市民ニーズが認められることから、「廃止・休止による影響は大きくある」とした。協働については、鎌倉の芸術文化の発信拠点として市民ニーズを捉えながら持続的且つ適切な運営を図るため、 え方、根 市民とどのような協働方法があるか等を検討していく必要がある。

平成29年度事業実施 にあたっての課題 (前年度未解決の事項 を含む)	・PFI事業に代わる手法として大規模修繕を進める必要がある。・利用頻度の高い備品について、市が修繕、購入等を行う必要がある。・指定管理業務における評価方法として、外部の委員等による評価について検討する必要がある。	
課題解決のために行っ た平成29年度の取組	・舞台の機構設備、音響、照明設備等の修繕を個別に実施した。 ・利用頻度の高い備品について、修繕、購入等を実施した。 ・外部評価方法について、他市の事例などを参考に検討した。	解決一部解決未解決
未解決の課題、新たな 課題とその理由	・平成28年度から平成30年度にかけて、大ホール特定天井改修設計を実施している。平成31年3月から 止期間を考慮しながら、今後の工期等を決定する必要がある。 ・適切な外部評価方法が見出せていない。	12月までの利用休

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

	<u> </u>	7 (7(V) 37) F			HIII	<u> </u>		1
比較事項	施設利用率	_						
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市		
他市実績	目標85%							
心中天候	86.1%	86.0%	休館中	休館中	78.2%	85.1%		
比較事項	利用者年間数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市		
他市実績	目標500,000人							
心中大傾	279,992人	364,473人	休館中	休館中	116,676人	254,029人		
比較事項		_						
団体名	鎌倉市							
他市実績								
一一一一大明								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	施設利用率						単位	%	指標傾[\Rightarrow	備考
当該指標。	を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30			H31	T-200 K 1
鎌倉市の芸術文化の拠点である		目標値	85.0	85.0	85.0 85.0			85.0				平成29年1 ~9月は大
鎌倉芸術館の	機能を充分に発揮	実績値	90.5	88.0	88.6	86.1	86.1					規模修繕の ため休館
できるようにするため。		達成率	106.5%	103.5%	104.2%	101.3%						7CV7 PTAB
指標の内容	年間利用者数						単位	人	指標傾向		\Rightarrow	備考
	年間利用者数 を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		人 H30		句	→ H31	
当該指標都	を設定した理由	年次目標値	H26 600,000.0	H27 500,000.0	H28 500,000.0	H29 250,000	位	人 H30 500,000	傾「	句	H31 0,000.0	平成29年 1 ~ 9 月は大
当該指標で 鎌倉市の芸術	を設定した理由 文化の拠点である 機能を充分に発揮	目標値	- 1 - 1				.0		傾「	句		平成29年 1

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方

年間利用者数は例年50万人を超えており、利用者の多い施設と言える。平成28年度についても、3ヶ月間の休館を考慮するとほぼ例年通りの利用者数となっている。平成29年度については、6ヶ月間の休館を考慮し、目標値を例年の半数とした。